

労働局長が、「ベストプラクティス企業」として、 白鶴酒造株式会社 を訪問しました。

11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、平成30年11月19日、畑中労働局長が、長時間労働削減等の「働き方改革」に積極的に取り組む企業(ベストプラクティス企業)として、

白鶴酒造株式会社 灘魚崎工場 (所在地:神戸市東灘区魚崎浜町13)

を訪問し、取組内容について意見交換をしました。

同社では、やりがいのある、多様な働き方ができる職場づくり、を目指し、積極的な取組を行っていますので、その一部をご紹介します。

【時間外労働の削減】

①取組の背景

2008年度から2012年度までの時間外労働は、1人当たり月平均6時間程度で推移し、足踏み状態にあったが、2012年の瓶詰め工場の移転・設備投資にあたり、生産性向上とともに時間外労働を一層削減することを経営課題とした。



△ 白鶴酒造(株) 灘魚崎工場

②取組内容

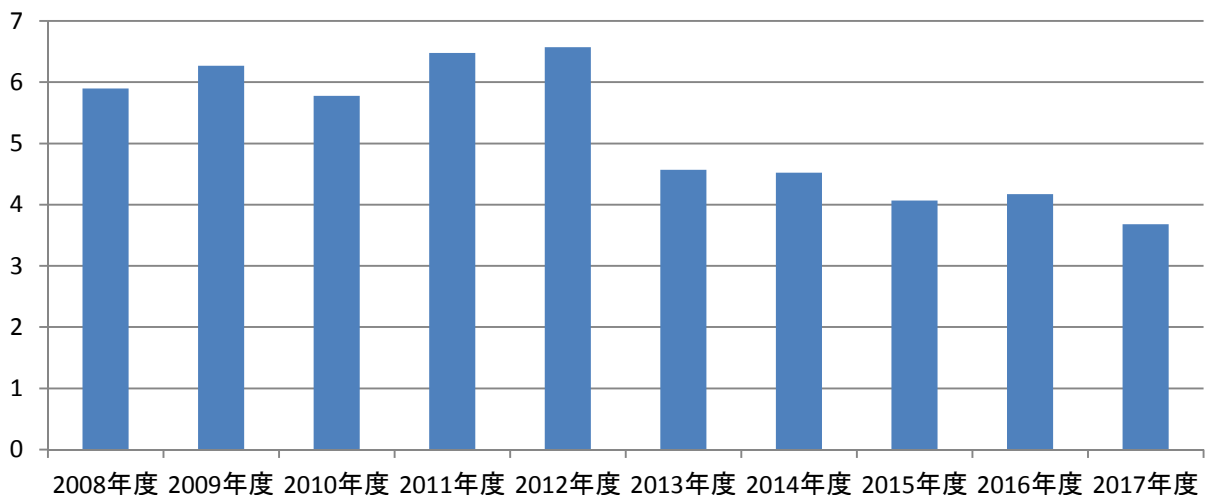
交替勤務制度、16パターンのシフト勤務制度の導入を、社員との面接等を重ねた上で実施し、無駄のない効率的な業務処理の推進を図った。

また、生産部署の社員のマルチオペレーション化を図った。

③取組結果

上記取組の結果、時間外労働は、2017年度では、1人当たり月平均3時間41分となり、生産効率を高めながら、月2時間程度の削減を実現する。

1ヶ月1人当たりの時間外労働時間数の推移



【障がい者雇用の拡大】

障がい者雇用の促進を図るため、1994年、労使で構成する「障害者雇用促進委員会」を設置し、雇用への理解を深め、2000年、初めて、障がい者の新規採用が実現。その後も雇用促進に努め、本年6月現在では、計10名の障がい者が働いている。

【育児・介護への支援】

育児休業法を上回る短時間勤務制度を導入し、現在4人の社員が利用している。育児休業、短時間勤務は男性も取得している。2016年3月には、厚生労働大臣から「くるみん」(子育てサポート企業)の認定を受ける。

【テレワークの試行】

現在、事務部署でモデル社員を立てて試験的に実施中。



△ 白鶴酒造(株)本社工場(左奥)と
酒造資料館(中央)

会社概要

- ・創業
1743年(法人設立 1927年)
- ・事業内容
酒類製造販売
- ・代表者
代表取締役社長 嘉納健二
- ・本社所在地
神戸市東灘区住吉南町4-5-5
- ・労働者数
437人(2018年4月1日現在)

▽ 白鶴酒造(株)総務人事部社員
と意見交換する畑中局長(左)

